



Cisco HyperFlex Systems のカスタマイズされたインストール方法

- [カスタマイズされたインストールの概要 \(1 ページ\)](#)
- [事前設定されていない Cisco HyperFlex システムのインストールおよび設定のワークフロー \(2 ページ\)](#)
- [VMware ESXi のインストール \(2 ページ\)](#)

カスタマイズされたインストールの概要

工場出荷サーバは、VMware ESXi が事前インストールされていない状態で出荷されます。この章では、Cisco HyperFlex インストール用に工場出荷サーバを手動で準備するプロセスについて説明します。HyperFlex インストール手順に移動する前に、このプロセスを完了します。

このカスタマイズされたインストール方法を、次のシナリオで使用することができます。

- HyperFlex クラスタにコンピューティング専用ノードを追加する。
- Cisco HyperFlex システムを再展開します。



(注) カスタマイズされたインストールワークフロータスクは、基本的に事前構成された HyperFlex Systems の展開と同じです。違いは、このワークフローに VMware ESXi をインストールする追加タスクが含まれていることです。

事前設定されていない Cisco HyperFlex システムのインストールおよび設定のワークフロー

始める前に

Cisco HyperFlex System のインストールと設定の要件を確認します。詳細については、「インストールの前提条件」を参照してください。

ステップ 1 vCenter でクラスタを削除することにより、既存の環境をクリーンアップします。Cisco UCS で、vCenter MOB エントリ、UCS Manager サービス プロファイル、および VLAN を削除します。

ステップ 2 「ソフトウェアのダウンロード」から **Cisco HyperFlex Data Platform インストーラ OVA** ファイルをダウンロードします。

例：

```
Cisco-HX-Data-Platform-Installer-v5.0.2a-41731-esx.ova
```

ステップ 3 HX Data Platform のインストーラを起動してサインインします。

- [カスタマイズされたワークフロー (Customized Workflow)] を選択します。
- [UCS Manager 設定の実行 (Run UCS Manager configuration)] を選択して、UCS サービス プロファイルを設定します。『Cisco HyperFlex Systems Installation Guide for VMware ESXi』の「Configuring Cisco UCS Manager and HX Data Platform」のセクションに記載されている手順に従います。

ステップ 4 vMedia を使用して、新規の ESXi インストールを実行します。

(注) 自動 IP アドレス割り当てに Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) を使用することは推奨されません。デフォルトでは、HX Data Platform Installer によって、ESXi サーバーに静的 IP アドレスが割り当てられます。DHCP を使用する場合は、適切な VLAN を使用して ESXi でネットワークを手動で設定します。

ステップ 5 HX Data Platform のインストーラを再び起動します。

- [カスタマイズされたワークフロー (Customized Workflow)] を選択します。
- [ESX 設定の実行 (Run ESX Configuration)]、[HX ソフトウェアの展開 (Deploy HX Software)]、および [HX クラスタの作成 (Create HX Cluster)] を選択します。

ウィザードで必ず [既存のパーティションの削除 (Delete Existing Partitions)] を選択してください。

VMware ESXi のインストール

サーバーには、VMware ESXi のサポートされているバージョンが必要です。最適な HX スナップショットのパフォーマンスと機能を実現するには、ESXi 7.0 U2 以降をインストールするこ

とを推奨します。サポートされる ESXi バージョンのリストについては、最新の『[Release notes for Cisco HX Data Platform](#)』を参照してください。



重要 各 HX サーバで ESXi をインストールします。

Cisco HyperFlex Data Platform の [ソフトウェアダウンロード](#) ページから VMware ESXi イメージをダウンロードします。Cisco UCS Manager を介してアクセス可能なネットワーク ロケーションを選択します。

HX カスタム ISO は、Cisco カスタム ESXi リリースに基づいています。

たとえば、

```
HX-ESXi-7.0U3-21930508-Cisco-Custom-7.3.0.16-install-only.iso
```

次のタスク

- Cisco UCS Manager を通じた vMedia およびブート ポリシーの構成
- リモート KVM コンソールを開きます。
- サーバを再起動してインストールを開始します。
- Cisco UCS Manager を介して vMedia およびブート ポリシーの変更を元に戻します。

Cisco UCS Manager での vMedia およびブート ポリシーの設定

Cisco UCS vMedia ポリシーとブート ポリシーを設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

HX Data Platform インストーラにログインします。Cisco UCS Manager の設定に応じて、標準クラスタ用の [クラスタの作成 (Create Cluster)] ワークフローを実行します。



(注) サーバからサービス プロファイルの関連付けを解除する際に特定しやすくするために、**Temporary** という名前のクラスタを作成してください。

- ステップ 1** Cisco UCS Manager のナビゲーション ペインで [サーバ (Servers)] タブをクリックします。
- ステップ 2** [サーバ (Servers)] > [ポリシー (Policies)] > [ルート (root)] > [下位組織 (Sub-Organizations)] > [hx-cluster] > [vMedia ポリシー (vMedia Policies)] を展開します。
- ステップ 3** [vMedia ポリシー HyperFlex (vMedia Policy HyperFlex)] をクリックします。

- ステップ 4 設定ペインで、[vMedia マウントの作成 (Create vMedia Mount)] をクリックします。
- ステップ 5 マウントの名前を入力します (例: **ESX**)。
- ステップ 6 [CDD オプション (CDD option)] を選択します。
- ステップ 7 プロトコルとして [HTTP] を選択します。
- ステップ 8 [IP アドレス (IP Address)] に HyperFlex インストーラ VM の IP アドレスを入力します (例: **192.168.10.210**)。
- ステップ 9 [変数イメージ名 (Image Variable Name)] として [なし (None)] を選択します。
- ステップ 10 リモートファイルとして **HX-ESXi-7.0U3-21930508-Cisco-Custom-7.3.0.16-install-only.iso** と入力します。
- ステップ 11 [リモートパス (Remote Path)] に **/images/** と入力します。
- ステップ 12 [変更の保存 (Save Changes)] をクリックし、[OK] をクリックします。
- ステップ 13 [構成ペイン (Configuration Pane)] で構成する HX ノードを選択し、[サーバ (Servers)] > [サービス プロファイル テンプレート (Service Profile Templates)] > [ルート (root)] > [サブ組織 (Sub-Organizations)] > [hx-cluster] > [サービス テンプレート hx-nodes (Service Template hx-nodes)] を選択します。
- ステップ 14 [vMedia Policy] タブをクリックします。
- ステップ 15 [vMedia ポリシーの変更 (Modify vMedia Policy)] をクリックします。
- ステップ 16 ドロップダウン選択項目から [HyperFlex vMedia ポリシー (HyperFlex vMedia Policy)] を選択して、[OK] を 2 回クリックします。
- ステップ 17 [サーバ (Servers)] > [ポリシー (Policies)] > [ルート (root)] > [サブ組織 (Sub-Organizations)] > [hx-cluster] > [Boot Policy HyperFlex] を選択します。
- ステップ 18 ナビゲーション ペインで、[CIMC マウント vMedia (CIMC Mounted vMedia)] というセクションを展開します。
- ステップ 19 [CIMC マウント CD/DVD の追加 (Add CIMC Mounted CD/DVD)] という名前のエントリをクリックします。
- ステップ 20 [ブート順序 (Boot Order)] リストで [CIMC マウント CD/DVD (CIMC Mounted CD/DVD)] エントリを選択し、[上へ (Move Up)] ボタンを何度かクリックして [CIMC マウント CD/DVD (CIMC Mounted CD/DVD)] エントリをリストの先頭に移動させます。
- ステップ 21 [変更の保存 (Save Changes)] をクリックし、[OK] をクリックします。
- ステップ 22 [リモート KVM コンソールを使用してインストールをモニタする \(4 ページ\)](#) に進みます。

次のタスク

サブ組織 **Temporary** を削除します。

リモート KVM コンソールを使用してインストールをモニタする

1 つ以上のサーバのインストールの進行状況をモニタするには、リモート KVM コンソールセッションを開いてインストール状況を監視することを推奨します。

KVM コンソールを開くには、以下の手順を実行します。

-
- ステップ 1 Cisco UCS Manager のナビゲーション ペインで [サーバ (Servers)] をクリックします。
 - ステップ 2 [サーバ (Servers)] > [サービス プロファイル (Service Profiles)] > [ルート (Root)] > [サブ組織 (Sub-Organizations)] > [HX クラスタ (hx-cluster)] > [ラック ユニット番号 (rack-unit-number)] の順に展開します。
 - ステップ 3 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [アクション (Actions)] 領域で、[KVM コンソール (KVM Console)] をクリックします。
 - ステップ 5 セキュリティ アラートが表示される場合は [続行 (Continue)] をクリックします。しばらくしてリモート KVM コンソール ウィンドウが開き、サーバのローカル コンソール出力が表示されます。
 - ステップ 6 インストール中に KVM コンソールをモニタする対象のサーバごとに、ステップ 2 ~ 4 をさらに繰り返します。
 - ステップ 7 [vMedia とブート ポリシーの変更を元に戻す \(6 ページ\)](#) に進みます。
-

サーバの再起動

vMedia ポリシー、ブート ポリシー、およびサービス プロファイル テンプレートを変更した後、インストールを開始するにはサーバを再起動します。

サーバを再起動するには、次の手順を実行します。

始める前に

サーバの再起動の進行状況をモニタリングするには、リモート KVM コンソールセッションを開きます。

-
- ステップ 1 Cisco UCS Manager のナビゲーション ペインで [サーバ (Servers)] をクリックします。
 - ステップ 2 [機器 (Equipment)] > [ラック マウント (Rack Mounts)] > [サーバ (Servers)] を展開します。
 - ステップ 3 [ワーク (Work)] ペインで、最初に再起動するサーバをクリックし、最後に再起動するサーバを **Shift** キーを押しながらクリックして、すべてのサーバを選択します。
 - ステップ 4 マウスを右クリックして、[リセット (Reset)] をクリックします。
 - ステップ 5 [OK] をクリックします。
 - ステップ 6 [電源の再投入 (Power Cycle)] を選択し、[OK] をクリックします。

これにより、KVM コンソール ウィンドウでモニタしているサーバが即時に再起動し、リモート vMedia マウントから起動して Cisco カスタマイズ ESXi ISO をインストールします。エラー メッセージがある場合は、無視しても差し支えありません。

VMedia とブート ポリシーの変更を元に戻す



警告を受け取った事項：DHCPルックアップに失敗しました。ネットワーク構成をカスタマイズするまで、このシステムにアクセスできない可能性があります。

VMedia とブート ポリシーの変更を元に戻す

サーバがブート ループに陥ってインストール用 ISO ファイルから起動し続けることを防ぐには、ブート ポリシーの変更を元に戻します。

始める前に

すべてのサーバがリモート vMedia ファイルからすでに起動し、インストール プロセスが開始済みであることを確認します。

- ステップ 1 Cisco UCS Manager のナビゲーション ペインで [サーバ (Servers)] をクリックします。
- ステップ 2 [サーバ (Servers)] > [ポリシー (Policies)] > [ルート (Root)] > [サブ組織 (Sub-Organizations)] > [hx-cluster_name] > [ブートポリシー (Boot Policies)] > [ブートポリシー HyperFlex (Boot Policy HyperFlex)] を展開します。
- ステップ 3 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。
- ステップ 4 [アクション (Actions)] 領域で、**CIMC マウント CD/DVD** をクリックします。
- ステップ 5 [ブート順序 (Boot Order)] リストから [CIMC マウント CD/DVD (CIMC Mounted CD/DVD)] エントリを選択し、[削除 (Delete)] をクリックします。
- ステップ 6 [変更の保存 (Save Changes)] をクリックし、[OK] をクリックします。

次のタスク

新しいノード

過去にクラスタ内で使用したことがない新しいノードを追加する場合は、HX クラスタを拡張します。詳細については、「クラスタ拡張のガイドラインセクション」を参照してください。

既存のノードの再インストール

このノードが過去にクラスタに含まれ、何かを修正するためにイメージを再作成した場合には、Cisco TAC に連絡して指示を受けてください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。